

福生市議会だより

FUSSA

No.131

発行 福生市議会
平成12年10月25日
〒197-8501 福生市本町5番地
☎ 042(551)1511(代表)

平成12年
第3回定例会

横田基地における訓練について市議会も嚴重抗議

平成11年度各会計決算認定される

本議会の経過

平成12年第三回定例会は、九月六日から九月二十九日までの二四日間の会期で行われました。

第一日目

四人の議員の一般質問が行われました。

第二日目

前日に引き続き六人の議員の一般質問が行われました。

第三日目

二人の議員の一般質問が行われた後、議案一三件、陳情一件の審査が行われました。

第四日目

各委員会に審査を付託された。

各委員に審査を付託された。

ていた議案の審査報告が行われ、また、新たに「福生市教育委員会委員の任命について」と「福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について」の二議案が提案されました。

いずれも、原案のとおり可決あるいは認定等されました。

この中で「福生市ひとり親家庭の医療費の助成に関する

条例の一部を改正する条例」と「平成11年度福生市一般会計決算認定について」は反対、賛成の討論が行われ、起立採決の結果、可決及び認定されました。

要請書
抗議文
(要旨)

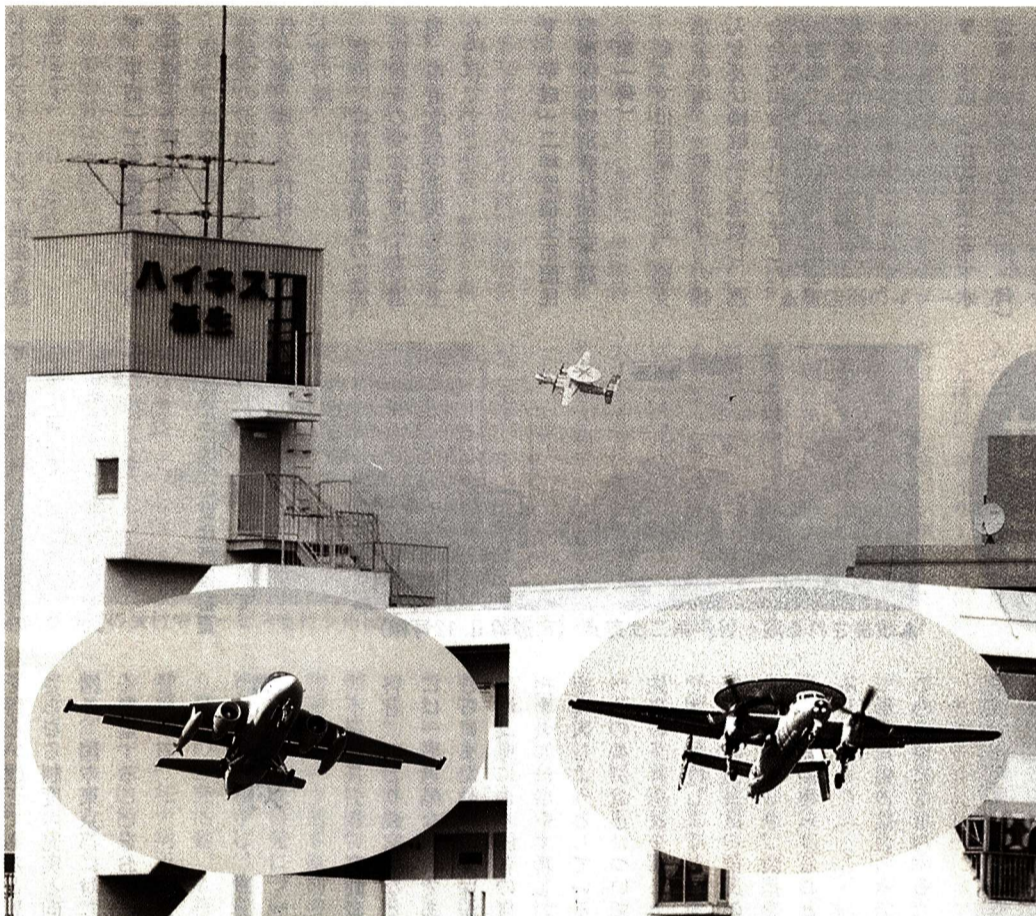
▽ 横田基地における離着陸訓練については、再三の中止要請にもかかわらず、またもや実施の通告があった。今までも住民の切実な願いを無視して実施されてきたことは誠に遺憾である。

同訓練は暫定訓練施設で全て行い、横田飛行場では一切実施しないよう強く要請する。
(九月一日)

▽ 再三にわたる中止要請にもかかわらず訓練が実施され、一八日だけでも昼夜間の訓練により三一八回を超える飛行が確認された。

また同日市民から一〇五件の苦情が寄せられた。
(九月一九日)

再三の要請を無視した訓練の実施は、横田での訓練の恒常化と受け止めざるを得ず、極めて遺憾であり、直ちに横田飛行場での訓練を一切中止するよう嚴重に抗議する。
(九月一九日)



▲市内上空で離着陸訓練をするS3BとE2C (市役所屋上にて)

8月25日横田飛行場における艦載機による着陸訓練の実施についての通告があり、市では市独自並びに横田基地に関する都と周辺市町連絡協議会による中止要請・抗議を口頭あるいは文書で6回行いました。

福生市議会としても、市長との連名で、9月1日には市長とともに議長・横田基地対策特別委員会正副委員長が東京防衛施設局に出向き、また同19日には市長とともに議長が横田基地並びに横田防衛施設事務所に出向き、文書による中止要請及び抗議を行いました。(要請先は在日米軍、内閣総理大臣、外務省、防衛庁他関係機関)

早く島に帰れますように
と願いをこめて



8月30日、正副議長が秋川高校を訪れ、「避難してきた三宅島の子供たちの教育備品に役立ててください。」と三宅村の山田照一教育委員会委員長に議員会からの義援金を渡しました。

主な内容

可決された案件・討論	2面
平成11年度決算審査から	3~4面
一般質問	5~7面
委員会の審査・活動	8面

定例会の日程

29日	8月	議会運営委員会
6日	9月	本会議(一般質問)
7日		議会運営委員会
8日		本会議(一般質問)
12日		議案審議
19日		全員協議会
20日		一般会計決算審査特別委員会(14日まで)
21日		建設委員会
27日		厚生委員会
29日		総務委員会
		議会運営委員会
		横田基地対策特別委員会
		本会議(委員会審査報告・議案の審議)
		全員協議会
		議会運営委員会

可決された案件 (要旨)

としてシルバークリア福生を設
置します。

▼平成一二年度福生市一般
会計補正予算(第二号)

歳入では交付金、補助金、
繰越金の追加と市税の減税に
伴う減、地方交付税や基金繰
入金の減。

歳出では高齢者施策の追加
健康診査の受診者増による追
加、市道改良の追加などが主
な内容です。

▼平成一二年度福生市国民
健康保険特別会計補正予算
(第一号)

▼福生市福祉事務所設置条
例等の一部を改正する条例
「社会福祉事業法」が「社会
福祉法」と題名が変わったこ
とにより五つの条例の引用部
分を改正するものです。

▼福生市乳幼児の医療費の
助成に関する条例の一部を改
正する条例

助成対象年齢を五歳未満ま
でに引き上げ、助成の適用除
外となる者の範囲を変更し、
一部負担を導入するものです。

▼福生市ひとり親家庭の医
療費の助成に関する条例の一
部を改正する条例

助成の適用除外となる者の
範囲を変更し、一部負担を導
入します。

▼福生市介護保険条例の一
部を改正する条例

附則の中の納期を改めるも
のです。

▼福生市営住宅条例の一部
を改正する条例

市営住宅入所者の資格の変
更と特別養護老人ホーム入所
措置者に対する経過措置の設
定のほか、借上げ高齢者住宅

▼福生市教育委員会委員の
任命について

新委員として長谷川貞夫氏
を任命します。

▼福生市固定資産評価審査
委員会委員の選任について

森田展州氏を再任します。



▲改良される原ヶ谷戸第二交差点(市道幹II-12号線)

を得ない改正であると思うが、
さらなる制度の充実と向上を
図り、国や東京都に対して強
く要望することを願ひし、
賛成する。

反対

不況が長引き、高齢者や障
害者、ひとり親家庭など弱者
には一層過酷な状況である。

さらにまた政府は健保法、医
療法改悪により弱者の自己負
担を大幅に増やす新しい制度
を導入しようとしている。

この条例改正について市は
独自の予算措置を講じようと
せず、対処しようとしている。
自治体の使命は、市民の暮ら
し、福祉を守り、負担を軽減
し、不安を和らげることにあ
る。

単に負担の拡大のみである
この条例には反対する。

討論

福生市ひとり親家庭の医療費
の助成に関する条例の一部を
改正する条例

賛成

国においては厚生省関連の
一二年度予算も前年度比一八
%の伸びを示している。東京
都も各種の施策を行い、また
福生市でもひとり親家庭に対
し、家賃助成や学童クラブの
育成料の減額処置、粗大ごみ
の減免処置といった支援施策
を展開している。

限りある財政の中で、やむ

方法の変更によるごみの分別
化、資源化の推進、教育施策
では中学校におけるコンピュ
ーター教室の開設をはじめ補
助教材に要する経費の公費負
担増額などが行われ、このほ
かにも市民生活の利便性、安
全性の向上がなされたと考え
る。

今後行政改革に積極的に取
り組み、経常経費の抑制、自
主財源の向上を図る努力、ま
た国、都への積極的な働きか
けを行い、財源の確保を図っ
ていただくことを願ひして
賛成する。

税金等が伸び悩む中で起債
の長期的、計画的な活用や基
金の取り崩し等で財源を確保
し、さまざまな市民要望にこ
たえ、市民福祉の向上を図っ
ていることは評価に値する。

賛成

今後においても、長期的か
つ計画的、効率的な健全財政
を維持されるよう要望する。
歳出では市民生活に密着し
た社会資本の整備や災害対策
の充実、市民福祉の向上に努
め、第二期福生市総合計画の
最終年度だったが、計画され
た事業はほとんど実施され、
一定の成果は上がったものと
考える。さらなる市民福祉の
向上を図り、市民に信頼され
る一層活力ある市政の実現を
期待し、賛成する。

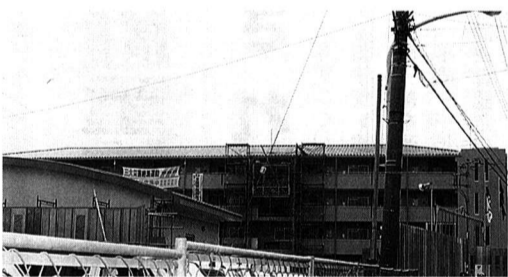
この決算においては、住民
の要望も多少なりとも反映さ
れていることは申すまでもな
いが、それによって決算への
評価が変わるものではなく、
反対する。

賛成

厳しい経済状況の中、住民
本位の温かい市政運営と、そ
れに基づく予算編成、執行が
求められていると考える。
一一年度学童クラブの有料

反対

化を実施し、平成八年からの
住民負担の増加は、国保税の
値上げ、下水道料金の消費税
転嫁、自転車駐車場、学童ク
ラブの有料化により年間一億
円以上にもなっている。
市の財政状況はどうかとい
えば、積立金は三多摩二七市
中第一位、公債費比率は二六
位、経常収支比率は二二位と
極めて良好である。財政力指
数は二六位だが、基地交付金
防衛補助、起債や特別交付税
などがあり、市民生活を守る
施策を十分に進めることがで
きる実質的な財政力があると
考える。にもかかわらず、住
民負担の強化の方向にひたす
ら進んでいる。



▲建築が進む高齢者等対応住宅(第四市営住宅)

「議会日誌」

27日	▼6月 全国市議会議長会基 地協議会実行運動	27日	び多摩地域都市モ ノール等建設促進協 議会合同総会
28日	圏央道多摩川橋ボ ルト締結式	27日	関東市議会議長会正 副会長会議・第一回 支部長会議(二八日 まで)
29日	西多摩衛生組合議 会	28日	三多摩上下水及び道 路建設促進協議会第 三委員会
10日	▼7月 福生病院組合議 会	11日	瑞穂斎場組合議 会
11日	首都圏中央連絡道路 建設促進協議会総 会	12日	八高線電化期成同 盟会総会
12日	八高線電化期成同 盟会総会	13日	三多摩上下水及び道 路建設促進協議会正 副会長・委員長会議
13日	三多摩上下水及び道 路建設促進協議会正 副会長・委員長会議	14日	東京都市収益事業組 合議会
14日	東京都市収益事業組 合議会	18日	多摩川上流域下水 道事業対策協議会
18日	議会運営委員会行政 視察(一九日まで)	21日	西多摩地域広域行政 圏協議会審議会
21日	八高線八王子・高麗 川間複線化促進協議 会総会	21日	三多摩上下水及び道 路建設促進協議会要 請行動
26日	西多摩衛生組合議 会	25日	道路交通問題対策特 別委員会
26日	三鷹・立川間立体化 複々線促進協議会及	29日	議会運営委員会

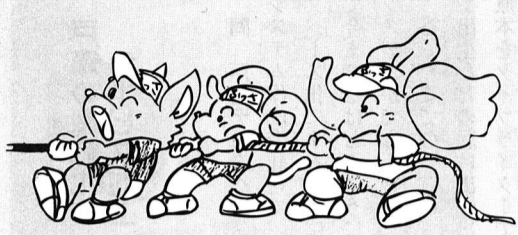
声の市議会だよりを お届けします

目の不自由な方のために、市議会の活動内容を
収録した「声の市議会だより・カセット」を発行
しています。ご希望の方にお届けしますので、議
会事務局までご連絡ください。

551-1511
(内線512)

平成11年度

決算の概要



▲市民のために力を合わせてがんばるぞ!

一般会計決算の審査から

米軍人・軍属 市への影響は

問 決算書にあらわれた市内居住の米軍人・軍属の影響額はどのようになっているのか。ごみ処理費、軽自動車税の不均一課税分、人件費、市民税の個人分について伺いたい。

答 一二年三月一日現在の市内居住の米軍人・軍属の人数を三〇八人として、ごみ処理費は四五八万八八四円、軽自動車税の不均一課税分は一五八台分で三九万六〇〇円、市民税個人分は三月一日現在の納税義務者数を二一〇人として三三一万七五七〇円、人件費は対象者を二七七人と

今回は、一般会計決算認定についての審査の中から、質疑応答(要旨)の一部を掲載しました。(各会計の決算額、一般会計決算の款別内訳は下表のとおりです。)

反映されたか 国・都への要望

問 国や都に対する予算要望をいろいろ行ってきたが、決算の中にどのように反映されているか。

答 国に対しては都市税源の充実確保、地方交付税の総額の安定的確保など四一項目にわたり要望している。基地関係では基地整備予算の増額などについて要望している。東京都に対しては調整交付金、振興交付金等の総合的財政補完の充実・強化、保健・福祉施策の充実など三五項目にわたり要望しており、国庫支出金全体では二三・二%の増、

高額未納者の現状は

問 固定資産税の不納欠損の最高額の方は一人で二二一〇万円だったが、これは何年ごろ発生して累積してきたのか。個人市民税、また水道料金や下水道料金なども不納欠損となっていると考えていいか。

答 この方は平成四年から滞納となっているが、かなり前から行方不明で、生活実態等々は見えない部分があるが、軽自動車は持っているのだから課税されており、市民税や水道料金、下水道料金なども課税されていないので、固定資産税のみである。

徴収率向上の対策は

問 徴収率が〇・一ポイント増で、二七市中二四位から二二位と前年に引き続き改善されているが、一年度の徴収の実態を伺いたい。

答 平成一一年度は収納率向上対策を策定し、口座振替の推進、広報等による納期内納税の促進のPR、収納強化月間の実施、実態調査・財産調査の実施など、徴収率の向

どうなる基地の固定資産税

問 横田基地の五市一町の資産合計に実際の固定資産税の税率を掛けた場合の固定資産税額は幾らになるか。

答 五市一町の合計で四三三億八千七百六十六万一千円、固定資産税を掛けると六〇億七千四百万五千円となる。平成一一年度の基地交付金は、立川市が二億二五九万九千二百円、昭島市が一七〇万八千円、武蔵村山市が四億七千九百六十六万二千円、羽村市が一億九千三百三十二万二千円、瑞穂町が六億一八八万二千円、福生市が二億七千三百三十九万九千円である。

老人ホーム負担金 未納者への対応は

問 社会福祉費負担金の中で老人施設措置費負担金が一〇九万七千円の収入未済額となっているが、この実数について。また四月から介護保険制度が始まるが、今後これらをどのように徴収していく予定か。

答 養護老人ホームが一人、特別養護老人ホームが一人、本人負担が七名、扶養義務者負担が七名、合計一五件である。四月から介護保険が始まり、措置費の徴収は一一年度までとなるが、これらの収入未済額については定期的に月一回とか、不定期的に文書や電話、訪問等によりお願いしている。昨年度は一五件のうち二件については支払い計画書を提出していた。

見てもういたい すばらしい市勢映画

問 市勢映画はすばらしいものができたが、多くの人に見ていただくためにどのような方法をとっているか。また貸し出しはしているのか。

答 市のフィルム自体は貸し出しは困難なので、通常のナレーションと英語版、字幕を入れたビデオを作成し、

職員研修で 期待するものは

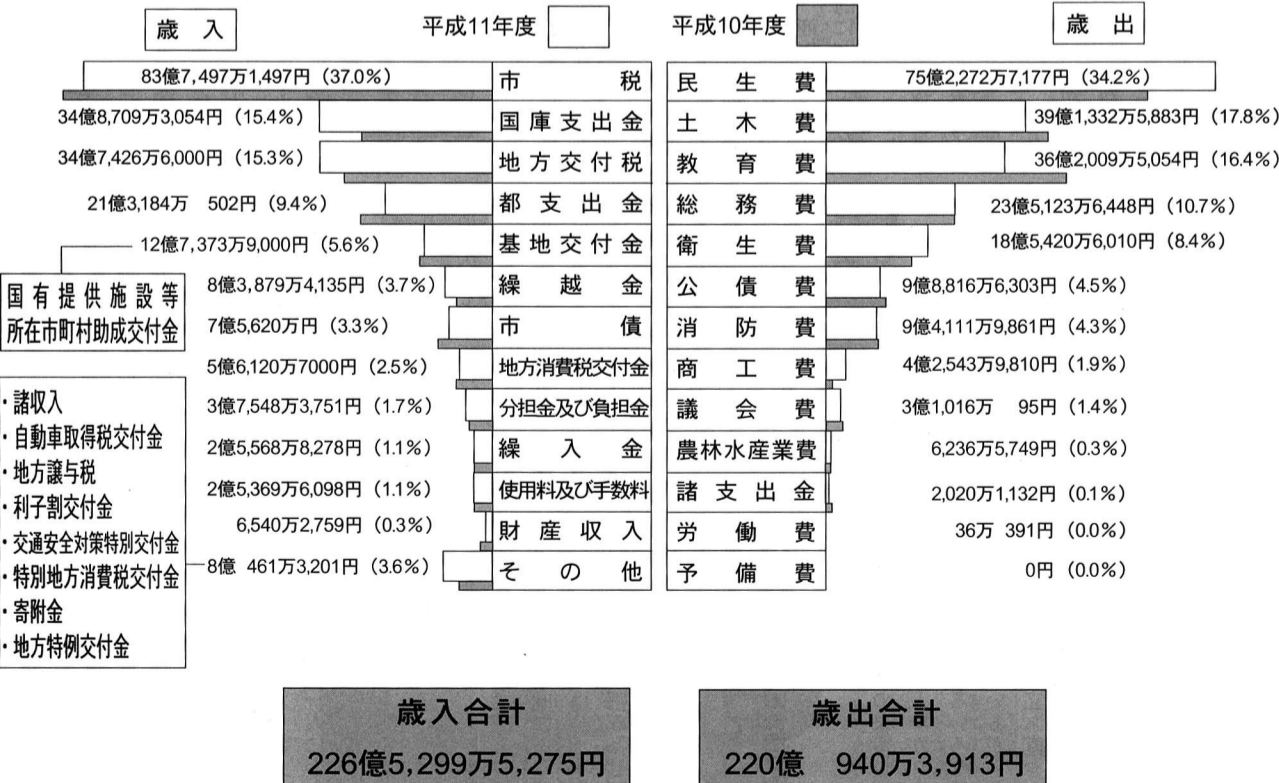
問 職員研修は全職員のうち何人ぐらいを研修対象とし、何を期待しているものとして、公務員としての理解、資質向上である。

答 組織内研修は二〇科目で参加人員は五九六名、自主研修は一五名、自治大学は三名、東京都職員研修所は二名、職員中央研修所は二名、国際文化研修所は一名、東京セミナー研修所は九名、民間企業派遣研修所は三名、東京都立町村研修所は四九科目で二二名、合計八七科目、延べ八四三名で、大体全職員二回程度参加をしている状況である。期待しているものとしては、

平成11年度会計別決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額(翌年度繰越額)
一般会計	226億5,299万5,275円	220億 940万3,913円	6億4,359万1,362円
特別会計			
国民健康保険特別会計	35億3,310万5,335円	34億5,906万9,483円	7,403万5,852円
老人保健医療特別会計	31億6,811万8,426円	31億5,052万 327円	1,759万8,099円
下水道事業会計	29億7,214万2,098円	29億1,571万5,905円	5,642万6,193円
受託水道事業会計	7億4,500万3,135円	7億4,500万3,135円	0円
合計	330億7,136万4,269円	322億7,971万2,763円	7億9,165万1,506円

平成11年度 一般会計決算の款別内訳 ()内の数字は合計に占める割合



戸籍の電算化でサービス向上

問 戸籍データベース及びシステム作成委託料で、データベース化することによって今まではどのように違うシステムができるのか。

答 今までの戸籍は、婚姻や出生などの届け出が出ると原本をタイプライターで記載しており、その作業は内容が大変複雑なため、処理に通常一週間から一〇日かかっていたが、コンピュータ化することにより磁気ディスクに戸籍の記載事項が登録され、コンピュータ上で審査や記録

ができるので、三、四日で処理できる。書式も変わり、戸籍事務の迅速化が図られ、市民サービスの向上につながると考えている。

市内に公衆浴場ゼロ その対策は

問 老人入浴券は一七五万円余の決算である。年度途中で施設が使用できなくなり、今は公衆浴場がない状況であるが、その後の方策はなされたのかどうか。また市民からの苦情があったのか。

答 市内に一軒あったお風呂さんが火災に遭った後、当市には一軒もない状況である。

市民保養施設 少ない子供の利用

問 市民契約保養施設の利用者は大人に対して子供の利用者が極めて少ないが、利用状況を伺いたい。また市内の旅行業者で取り扱う以外の施設を加えたが、どのような基準で加えたのか。

答 一〇人以上を団体として、数家族、地域・趣味グループなど団体利用が多い。子供の基準は四歳以上小学校六年生までで、四歳未満には交付しておらず、子供の対象年齢幅は狭い状況である。また市内の旅行業者以外の施設として、平成一一年四月から都市町村共済組合の依頼で組合保養所を二カ所加えたものである。国保加入者の保養施設利用も一人年間三千元で公営宿泊施設、国民宿舎等利用の場合、補助が受けられる。

高齢者住宅 今後の見通しは

問 地域高齢者住宅計画では公的住宅九〇戸、民間借上げ三〇戸、合計一二〇戸が目標となっており、一一年度までで公的住宅が四九戸、民間が一戸、計六〇戸ということだが、今後の民間住宅の借上げの見通しを伺いたい。

答 ここで修正予算を計上させていたが、今年度一月ごろから福生地区に民間借上げのシルバークロニア福生を来年五月入居目標で一八戸を予定しており、シルバークロニアの二戸と合わせると二九戸になる。民間借上げについては三〇戸の目標がほぼ確保できるかと思っている。

ごみ減量の報償費 十分な予算化を

問 ごみ減量対策費は前年度もそうであるが、報償費が足りなくて流用している。一〇年度は一〇〇万円を超し、一一年度で三四万円余の流用をしていますが、一生懸命やっていたのに不足していること、最初から多めに予算化しておくべきではないか。

答 集団回収の報償金は確かに最近の経緯を調べてみると決算時に不足して流用している現象が出ていますので、今は予算編成時に精査をし、十分な予算の確保をしていきたい。

蚊・ハエの駆除 効果上がったか

問 一〇年度まで町会の方でハエ等の駆除をしていたが、一一年度からは側溝・空き地等を公共施設ということで市が行っているが、効果はどうか。

答 伝染病予防法に基づき、伝染病の媒体となる蚊、ハエの衛生害虫駆除を目的に町会自治会に貸し出し業務を実施していたが、公共下水道の整備で伝染病の発生も近年なくなっており、町会への貸し出しについては他市も行っていないことなどから、平成一〇年度で中止をした。側溝、草むらなどの公共施設等については市民からも消毒の要望があるので、継続して行っている。

プラスチックごみ そのゆくえは

問 プラスチック、発泡スチロールトレイ、ペットボトルはリサイクルできるということで業者がいるが、最終的にどのように処理しているのか伺いたい。

答 プラスチックは市で収集して、リサイクルセンターに集め、独自ルートでフレック状態にし、ボールペンの軸等ほとんどのプラスチック製品に使用している。発泡スチロールトレイはシルバー人材センターで使用の可、不可を選別後、使えるものについて発泡スチロールトレイ協会に搬出して四二トンを集めると容器包装リサイクル法に基づく指定ルート分として、集められたものはマテリアル・リサイクルということで原料に戻されている。

気になる 浮遊粒子

問 浮遊粒子状物質は三年間激増している。また水質検査でも一月にPHの異常値が出ているが、これらの結果にどのような対応したのか。またこれらは許容値に入っているのか、数値の動きについて伺いたい。

答 年度別浮遊粒子状物質については今のところ基準値はなく、調査した結果のみを掲載している。また水質検査についてはPHは基準値が六・五から八・五が許容範囲、SSは〇から二・五ppmが基準であり、測定値についてもSS、PHともに満足しているが、BODは〇から二・〇までが範囲であるが、二月に少し上がっている。

プレミアム商品券 商店街への効果は

問 プレミアム付商品券による効果が多少なりともあったと思うが、商店街の関係者からは具体的にどのような声があるか伺いたい。

答 商工会で取り扱った事業者の上位九社を対象にアンケート調査を実施し、五八事業所から回答があり、売り上げの効果としては「効果があつた」が二七％、「効果がなかった」が二〇％、「どちらとも言えない」が五三％であった。また登録事業所が三〇二事業所で、商品券の換金収入があつた事業所が二二二事業所で、これらの数字から全体的に地域の活性化に寄与したのではないかと見ている。

水防演習 実施の規模は

問 一一年六月に多摩川中央公園で実施された消防・水防演習はどの程度の規模だったか。参加団員、参加消防署

国際化への取組み 青少年海外派遣事業

問 国際交流青少年海外派遣事業は大変好評であるが、応募者はどのくらい増えているか。また子供一人にかかる純然たる経費はどのくらいか。

答 応募者数は景気のせいだと思いが減っている。平成一〇年は五〇名、一一年度は五一名、一二年度は三〇名の応募で、減少傾向にある。一人当たりの経費は一一年度で引率者を含めて割ると七四万円ぐらいである。

手をさしの手をさしの手 不登校からの立ち直り

問 教育相談の来室相談、電話相談、スクールカウンセラー相談などいろいろな教育相談が行われているが、その結果不登校から立ち直つたというのはいくらいるのか。また「最終までの延べ面接回数」が多い方で六二回とあるが、どのようになっているのか。

答 不登校から立ち直つたのは小学校で五例あり、中学校で一〇例ある。これは担任の働きかけ、教育相談員の指導、助言、中学校でのスクールカウンセラーの指導等が有効で登校意欲がわいたものや中学三年になり生徒への将来いろいろな指導をする中で復したというケースがある。

また女性防災コンクールの中で模擬的な操法を行つたり、総合防災訓練の中の訓練も行っている。現在まで実火災や枯れ草等での使用はないが、いざというときに活用できるようにさらに管理・点検をお願いしたいと考えている。

三六八万円である。

議案を傍聴しよう

▲平成11年度一般会計決算は起立多数で認定



市政の...が聞きこい

想で取り組む必要があるが、来年度の組織見直しも視野に

国勢調査にあたり

市はどう考えるか。

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、二人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にたずねました。五面から七面にその主な項目を掲載しましたが、紙面の関係から、すべての項目が記載できません。詳しくは、一・二月初旬発行予定の会議録を図書館でご覧ください。なお、この一般質問の内容は、質問議員に確認しています。

議会を傍聴しよう。

防演習ほどの程度の規模だったか。参加団員、参加消防署員にさらに管理・点検をお願いしたいと考えている。結し、解決しているとは判断していない。

施行後五カ月 介護保険事業の運営状況は

石川和夫 議員

質問 ① 事業開始時(四月一日)の認定者数と利用者数、その後の利用者数、ケアプランの推移はどうか。ケアプランの作成等事業者と利用者間での問題はなかったか。また一〇月から保険料徴収が始まるがその対応について伺いたい。

② 認定審査で「自立」の方、また事業対象者外の健康な高齢者への支援策はどうなっているか。

市長 ① 要介護等認定者数は六五三人、八月末で七五人が認定され、各種サービス等の利用者は増えている。ケアマネージャーは新しい職種であり若干問題が生じたが、



▲市内配布された介護保険べんり帳

質問 ① 平成一四年から完全週五日制になるが、授業時間の短縮で学力が低下、また生活面での問題等が不安視されないか。また市内各中学校の部活動は大変すばらしいが、それにも変化が出てこないか。実施までに家庭、地域社会にどう対応し、また社会教育、学童保育においてもどう考えるのか。

② 少子化の進行により一〇年前と比べての児童・生徒

三六八万円である。

NPO(特定非営利団体)の育成支援をどうするか

質問 行政区域などを取り

行政区域などを取り、行政をどうするか。NPO(特定非営利団体)の育成支援をどうするか。NPOは自主的、自立的団体として行政と対等関係にあり、協働を基本とした新たなルールづくりによる育成支援が必要である。福祉・教育・環境・まちづくりなど幅広い分野にわたる例がたくさん出ている。NPOは市民に開かれた行政という課題のキーワードにもなり、教育、福祉行政などを縦割りにとらえるのではなく、市民参加、開かれた透明性の高い行政をつくるという横断的発

コンタクト(航空騒音)線 見直しの影響は

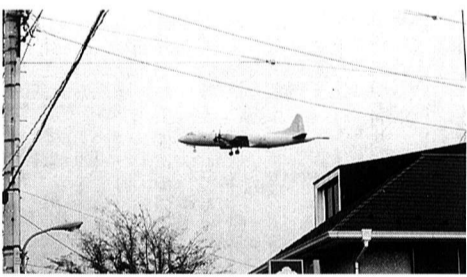
遠藤洋一 議員

質問 横田基地騒音訴訟において、航空騒音が七五WECPNL以上のところは騒音がひどいとして国の補償があったが、本年七月の第二三回公判に国が疎明資料として出したきた新しいコンタクト図は従来よりかなり騒音が小さくなっており、騒音被害の補償を少なくするものである。市は新しいコンタクト調査等の実態を知らないということだが、このコンタクトの見直しをどう考え、どう対処していくのか。



▲いつまでも、お元気で(敬老大会にて)

市長 訴訟資料という形で情報を得て驚き、東京防衛施設局に説明を求めた結果、基地周辺五市一町の事務担当者に説明がされた。新たなコンタクト線を見ると、今後指定区域の見直しがされ、新たな線引きが行われると周辺住民への影響が懸念されるので、五



▲静かにならない航空騒音

国勢調査にあたり 一層のプライバシー保護を

質問 日本国勢調査は精

度面度で世界で一番である。住所、氏名、年齢、配偶者の有無、宗教、職業等々の詳細な調査はプライバシーの観点から厳格に行われるべきである。また国は全国で本人確認等を効率的に行える住民基本台帳ネットワーク化を進めているが、個人情報保護が最も重要な課題として制度、技術、運用面での対策に万全を期すこととしている。当市もこれらの点を十分踏まえ、進めていきたい。

慢性的交通渋滞 現状認識と対応は

乾栄三郎 議員

質問 ① 五日市街道の熊川武蔵野交差点より国道一六号線の間は市内有数の渋滞を起している。朝鮮動乱の際、B-29の離着陸のため横田基地滑走路が南に拡張され、五日市街道は現在のように基地の南端に位置し、その後の車の南端に位置し、その後の車の社会的到来で現在の福東地域の恒常的、慢性的交通渋滞を引き起こされたと思うが、市の現状認識はどうか。

② 長期間多大な迷惑をこうむってきた福東地域の方に交通量、排ガス、騒音等の調査実施による今後の対応は。

市長 ① 交通渋滞を抜本的に解消するにあたり建設省が小荷田交差点から武蔵野橋間の拡幅事業を進め、都は陸橋通りの拡幅事業を進めている。この完成が渋滞解消になると思われ、建設省ははじめ都へ早期完成の要望をしている。

② 毎年各種の公害等に関する調査を実施している。

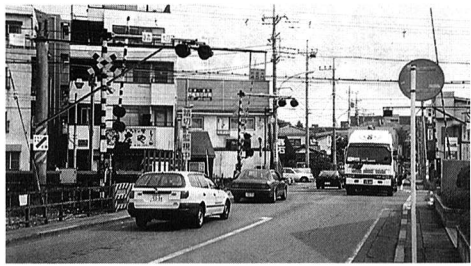


▲渋滞がひどい五日市街道

総合行政の取り組みと 将来目指すものは何か

質問 六月議会の市長答弁

に縦割り行政の弊害を解消し、横断的、総合的な行政を進め、(次ページに続く)



▲安全に通れる踏み切りを

地方分権、少子高齢化などの課題に対応していくことが今後求められるとあった。三重県の北川知事も「今の日本の閉塞感、未熟国家の縦割りの行政に対し地域の公共団体が総力をあげて取り組むべきだ」と言っているが、当市の取り組み状況と将来目指すものは何か。

牛浜駅の踏切を 早急に改修を

羽場 茂 議員

質問 三期総合計画に基づく少子高齢化、環境問題、市民参画等の課題に対応するために横断的、総合的取り組みが必要であり、行政運営が必要である。

質問 丁R牛浜駅南側の五日市街道の踏切は、こぼれがあり、車いすでの通行に大変苦勞しているという市民からの相談があった。この踏切は市民会館で行事があると必ず通る、非常に交通量の多いところで、健常者でも歩きにくく現状は非常に危険なので、早急に調査、改修が必要と思いが、市長の考え方を伺いたい。

市長 五日市街道と鉄道が交差する「踏切道」の平坦性や交通安全に配慮したバリアフリー化については、基本的には東京都、あるいはJRの整備方針に委ねられるが、現状では両者ともその予定はないとの見解を示しており、御要望の点については困難な状況にある。JRでは実地調査をした意向もあるようなので、その際には東京都にも立ち会っていただき、バリアフリー化整備について強く要望していきたい。

二世紀に向けての 中学校給食は

質問 今世紀中に方向性を出すと何って一年余りたつが、その間いろいろ検討、研究を重ね、大詰めに差しかかってきたと思う。六月定例会後の検討内容、進捗状況についてまた検討内容によっては来年度の予算措置が必要になると思うが、予算編成にあたってどのように考えているか伺いたい。

市長 拡張整備事業に伴い建設省と警視庁の協議の中で、路肩は停車帯としては認めず、商店街での荷物の積みおろしなどは可能であるとのことであったが、最近では違法駐車が増加していることから、顧客以外の駐車車については商店街で再度意志統一し、自主規制を行うなどし有効活用を図っていただきたい。



▲やっぱり駐車場がほしい商店街

質問 商業振興として顧客を引き止めるのに駐車場を抜きにしては語ることができない。国道一六号線を拡張したとき駐停車が約束されていたと聞いているが、その経過といきさつ、また国道一六号線の側帯を停車帯として使用できないか。できなければ何か駐車場について考えられる支援策はないか伺いたい。

国道一六号線の 駐車場対策を

今林昌茂 議員

質問 商業振興として顧客を引き止めるのに駐車場を抜きにしては語ることができない。国道一六号線を拡張したとき駐停車が約束されていたと聞いているが、その経過といきさつ、また国道一六号線の側帯を停車帯として使用できないか。できなければ何か駐車場について考えられる支援策はないか伺いたい。

市長 拡張整備事業に伴い建設省と警視庁の協議の中で、路肩は停車帯としては認めず、商店街での荷物の積みおろしなどは可能であるとのことであったが、最近では違法駐車が増加していることから、顧客以外の駐車車については商店街で再度意志統一し、自主規制を行うなどし有効活用を図っていただきたい。

横田基地との 消防相互応援協定は

質問 阪神・淡路大震災や北海道の有珠山、三宅島の火山噴火などの災害があったが、このような災害が起きたときに横田基地と福生市との間で消防相互応援協定はどのようなものか。また横田基地との合同防災訓練を考えているか。

市長 横田基地との消防相互応援協定は、東京消防庁消防総監と米空軍第三七四空輸団横田基地司令官との間で締結されており、この協定の第九条で、東京消防庁とは基地周辺連絡協議会の五市一町と青梅市及びあきる野市の二市も含まれ、これらの八市町の消防団員を含むものとなっている。内容は第一条で人命、財産の保護及び消防活動での相互応援を、第二条、第三条

質問 ミニバス導入に対しては、市内は狭く、五つの駅へのアクセスの面で必要性はあまりないとの答弁をいただいているが、都営住宅、シルバー住宅も増え、第四市営住宅も建設中であり、深刻な問題として今こそ交通空白地域の解消にこたえていただきたい。また福生市第三期総合計画の中に「市内を循環する簡便な乗り物」とあるが、交通手段の確保にあたって今後どのように調査、研究をしていくのか。

市長 市内の五つの駅からはバス路線があり、それなりに交通手段は確保されていると思うが、一三年度からの路線バス自由化に伴い赤字路線の廃止や撤退が予想されることから、市民生活への影響が懸念されることである。第三期総合計画では市内巡回バ

質問 日本は戦後と一九七〇年以降の二度の覚せい剤乱用期に次いで第三次乱用期の到来を迎え、これまでは社会の変化、発展についていけない人の心のすき間に入り込んだものが、今回は普通の学生や一般市民の乱用が目立ち、日常生活にまじめに忍び寄るという質的变化が大変深刻な問題となっている。

市長 市内の五つの駅からはバス路線があり、それなりに交通手段は確保されていると思うが、一三年度からの路線バス自由化に伴い赤字路線の廃止や撤退が予想されることから、市民生活への影響が懸念されることである。第三期総合計画では市内巡回バ

質問 日本は戦後と一九七〇年以降の二度の覚せい剤乱用期に次いで第三次乱用期の到来を迎え、これまでは社会の変化、発展についていけない人の心のすき間に入り込んだものが、今回は普通の学生や一般市民の乱用が目立ち、日常生活にまじめに忍び寄るという質的变化が大変深刻な問題となっている。

市長 市内の五つの駅からはバス路線があり、それなりに交通手段は確保されていると思うが、一三年度からの路線バス自由化に伴い赤字路線の廃止や撤退が予想されることから、市民生活への影響が懸念されることである。第三期総合計画では市内巡回バ

質問 ミニバス導入に対しては、市内は狭く、五つの駅へのアクセスの面で必要性はあまりないとの答弁をいただいているが、都営住宅、シルバー住宅も増え、第四市営住宅も建設中であり、深刻な問題として今こそ交通空白地域の解消にこたえていただきたい。また福生市第三期総合計画の中に「市内を循環する簡便な乗り物」とあるが、交通手段の確保にあたって今後どのように調査、研究をしていくのか。

市長 市内の五つの駅からはバス路線があり、それなりに交通手段は確保されていると思うが、一三年度からの路線バス自由化に伴い赤字路線の廃止や撤退が予想されることから、市民生活への影響が懸念されることである。第三期総合計画では市内巡回バ

質問 ミニバス導入に対しては、市内は狭く、五つの駅へのアクセスの面で必要性はあまりないとの答弁をいただいているが、都営住宅、シルバー住宅も増え、第四市営住宅も建設中であり、深刻な問題として今こそ交通空白地域の解消にこたえていただきたい。また福生市第三期総合計画の中に「市内を循環する簡便な乗り物」とあるが、交通手段の確保にあたって今後どのように調査、研究をしていくのか。

市長 市内の五つの駅からはバス路線があり、それなりに交通手段は確保されていると思うが、一三年度からの路線バス自由化に伴い赤字路線の廃止や撤退が予想されることから、市民生活への影響が懸念されることである。第三期総合計画では市内巡回バ

また横田基地との合同防災訓練については、外国の軍隊であり安全保障条約など国家間の取り決めの制約も多く、合同での訓練については現時点では考えていない。

また横田基地との合同防災訓練については、外国の軍隊であり安全保障条約など国家間の取り決めの制約も多く、合同での訓練については現時点では考えていない。

また横田基地との合同防災訓練については、外国の軍隊であり安全保障条約など国家間の取り決めの制約も多く、合同での訓練については現時点では考えていない。

また横田基地との合同防災訓練については、外国の軍隊であり安全保障条約など国家間の取り決めの制約も多く、合同での訓練については現時点では考えていない。

玉川上水に架かる橋梁の 耐震診断は

原島貞夫 議員

質問 六月二六日に始まった三宅島の噴火活動は激しさを増し、周辺地域の強い地震も一向に止む気配もなく、地震の頻発で東海や関東直下型の大地震との関係が心配されている。今後予想される関東

質問 下川緑地は市内に残された数少ない自然で、何としても後世に残さなければならぬ。平成二二年度より五日市線以北の買収が開始されたが、五日市線以北の樹木がなく石積みの擁壁などの買収困難なところはどのように対処するのか。また、平場の不連続な箇所は遊歩道はどのように整備していくか伺いたい。



▲橋の耐震対策は

市長 下の川緑地は、緑地保全が目的の事業だが緑地のないところは、石積みの擁壁で都道に面している。権利者のご協力により都道として東京都へ寄附していただいたケースもある。買収の難しい部分についてはできる限り権利者のご協力をいただきながらよりよい方法で解決していきたいと考えている。五日市線から多摩橋通り間については、下流域と地形が異なり、連続性の遊歩道の計画は難しいが、ほたる公園周辺の湧き水を利用したせせらぎのある遊歩道として整備し、現在の自然を最大限に生かすことを基本に設計を進めていきたいと考えている。

仮称下の川緑地の 進捗状況について

原島貞夫 議員

市長 下の川緑地は、緑地保全が目的の事業だが緑地のないところは、石積みの擁壁で都道に面している。権利者のご協力により都道として東京都へ寄附していただいたケースもある。買収の難しい部分についてはできる限り権利者のご協力をいただきながらよりよい方法で解決していきたいと考えている。五日市線から多摩橋通り間については、下流域と地形が異なり、連続性の遊歩道の計画は難しいが、ほたる公園周辺の湧き水を利用したせせらぎのある遊歩道として整備し、現在の自然を最大限に生かすことを基本に設計を進めていきたいと考えている。

銀座通りのイメージアップについて

山下 進 議員

質問 銀座商業会の区間が完成し、商店街もイメージアップしたが、工事としては簡単なもので、完成後はどこどこに歪みが見られるが、今後銀座中央商業会の区間を施工するにあたっては、歪みのない方法をとってもらいたいかがどうか。また、電線類の地下埋設について、以前の答弁では細い道でも地下埋設ができる技術を開発しており、可能性はあるとのことであったが、その後の経過を伺いたい。

市長 今後の工事については、路盤部分をアスファルト等で強固なものにすることも考えられるが、工事費が割高で期間も長くなることから、商店に大変迷惑をおかけすることになるので、既存の路



▲商店街のイメージアップ拡大を

多摩川の自然環境について

質問 多摩川へ鮎釣りに行くとき、毎秒二トンの流量復活により水生生物が増えたように思うが、魚道を整備して魚が住みやすい環境にしていた

市長 建設省は一六年度末までに河口から小河内ダム間に一四施設の魚道を整備する予定で、昭和堰は整備が終わり、羽村堰は今年度終了する。なお多摩川では年に三カ所、六回水素イオン濃度、生物学的酸素要求量、浮遊物質量の調査を行っている。また平成九年の河川法改正により、河川環境の整備と保全を加えた整備指針を策定中で、市民が親しめる河川環境の整備に向けて要望していきたい。



▲介護保険の受付やサービスを行う市役所窓口

介護保険の現状と実態は

奥富喜一 議員

質問 本年四月から始められた介護保険制度の利用者の八月末までの認定状況を伺いたい。また福生市介護保険事業計画では居宅サービス五四六人、施設サービス二一八人見込んでいるが、月ごとのサービス利用者数と利用状況を伺いたい。

市長 開始時に要介護と認定された方は六五三人であったが、五カ月間で九八人増えている。介護保険実施によるサービス利用状況の変化としては、昨年六月との比較でホームヘルプサービス利用者は一・九倍に、デイサービス利用者は一・三倍、ショートステイ利用者は一・四倍に増えていることが判明した。

質問 ペット飼育は子供の情操教育やお年寄りとの交わりなどでぜひ防止など大きな効果が期待されている。ペットの飼育は子供に責任感を育てる上でも大きな貢献をしていると思うが、昨今、動物に対する心ない虐待事件が後を絶たない。動物愛護を目的にペットへの虐待を禁じた動物の保護及び管理に関する法律が二六年前に改正され一二月に施行され、罰則も強化されるが、この法律の三条で国及び地方公共団体は動物の愛護について教育活動、広報活動を通じての普及、啓発を図るよう努めなければならないが市の対応を伺いたい。

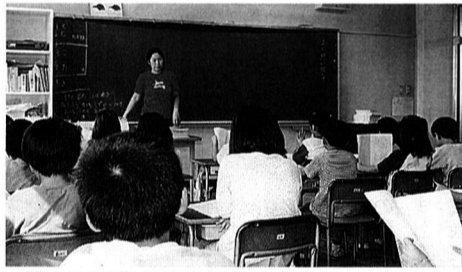
動物愛護法改正に伴う市の対応は

市長 今回の法改正は、名称と動物が命あるものであり、動物をみだりに殺し、傷つけ、苦しめることなく、人と動物の共生に配慮しつつ、その習慣を考慮して適切に取扱う動物愛護という基本原則の改正であり、普及啓発については基本原則を遵守し、健康まつり等での啓発活動、広報での呼びかけ、狂犬病予防接種時のPR、獣医師会への協力依頼など機会あるごとに今回の改正について積極的にPRしていきたい。

早期実施 少人数学級を

松山 清 議員

質問 子供たちの一人ひとりの健やかな成長を保障するため、市の責任で少人数学級を実現してほしいと六千人を超す署名の陳情書が出され、総務委員会で慎重に審議されている。かつてない多数の署名からみても、少人数学級の実施の問題を保護者は極めて重要なことと受けとめているのではないかと。教育委員会は実施についてどう考えているのか伺いたい。



▲熱心に授業を受ける子供たち

質問 文部省は本年一月の学校教育法施行規則の一部改正で学校評議員制度を位置づけた。市は早速学校評議員制度を他市に先駆けて八月に要綱を設置し、各校長に対し設置を求めよう求めていることである。大変素早い対応であるが、この制度設置に何を期待しているのか伺いたい。

学校評議員の設置に何を期待するのか

市長 病院を経営する上で、最重要課題は医療ミスの防止である。福生病院でもいろいろ研究検討が行われており、勤務中に「ひやり」としたか「はっ」としたときに看護事故報告書を作成し、要因・対応策を検討し未然に事故防止に努めている。また手術での輸血ミス防止、点滴等のミス防止にも血液型識別バンドの装着などで防止に努めている。医療事故防止研究会など外部研修にも積極



▲信頼される公立病院を目指して

福生病院の医療ミス防止対策は

小野沢 久 議員

質問 病院での医療ミスが報道されるたびに、病院が信じられなくなり、二つ、三つの病院を回ってよいところを探さないと手術もできない。また病院に行つて病気をうつされるなど心配が多い。来年四月、新たにスタートする福生病院に市民は多くの投資をするつもりであり、より市民に信頼され、安心して行ける病院にしたい。

熊川体育館にトレーニング室を

質問 トレーニング室がある福生地域体育館の利用者は九万人余り、トレーニング室利用は三万四千人と全体の三七％を占めている。一方熊川地域体育館の利用者は三万六千人余である。近くでトレーニングができればという声もあり、これからの高齢化、健康志向の中で、団体競技、個人競技など志向も変わり、リハビリ目的の使用もあるかと思うが、市民の要望がある熊川体育館にトレーニング室が設置できないのか。

教育長 福生地域体育館のトレーニング室では市民の健康増進、体力向上を図るための専任トレーナーを常時配置しており、一日平均一〇〇人を超える利用者がいる。また熊川地域体育館も利用者の拡大、市民の健康増進を図る観点から、既存施設の有効活用や増築も含めトレーニング室設置を検討してきたが、建費等の問題もあり、物理的に難しい実情にあり、今後とも研究課題としていきたい。

委員会の審査から

完成する予定である。

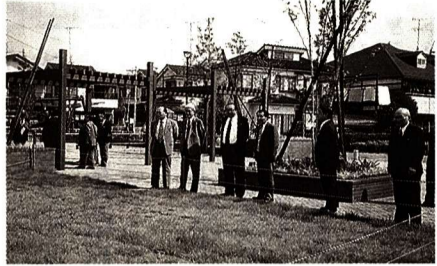
建設委員会

今定例会の常任委員会で、付託された議案と陳情及び継続となっていた陳情の審査が九月十九日、二十日、二十一日の三日間、建設、厚生、総務の順で行われました。

また、議会運営委員会は、今定例会に関し、五回行われました。

ここでは、各委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

建設委員会



▲福栄ミレニアムパークを視察

九月十九日に開催された委員会では、現地視察（福栄ミレニアムパーク）の後、付託された議案四件を審査しました。

◎平成一二年度福生市一般会計補正予算（第二号）

問 原ヶ谷戸の井上米店前の交差点改良工事の着工と完成時期について。

答 予定として平成一三年六月頃に着工し、同年一〇月頃

厚生委員会

九月二〇日に行われた委員会では審査された議案の主な質疑は次のとおりです。

◎福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

問 対象人数の変化は。

答 四歳児人口の約五四％で人数では三二七名が該当する。

◎福生市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

問 個人負担の総額は。

答 三〇一万円である。

◎平成一二年度福生市一般会計補正予算（第二号）

問 家具転倒防止装置とは。

答 装置一組を主に寝室部分に設置するものである。

問 徘徊高齢者支援サービスとは。

答 所在不明になった場合に探索するもので、関東一円は把握ができ、誤差は三〇メートル位である。

◎平成一二年度福生市下水道事業会計補正予算（第一号）

◎平成一一年度福生市下水道事業会計決算認定について

問 下水道使用料の不納欠損の対前年の比較及び増えた理由について。

答 平成一〇年度が五九万七二二円で四百件、一一年度は九八万四六八二円で五二七件であり、転出所在不明者が増えたことによる。

◎平成一一年度福生市受託水道事業会計決算認定について

問 高齢者外出支援事業とは。家族もボランティアの方も利用可能である。

問 外出支援サービスの車は。答 リフト付きの七人乗りで、月に一回二泊三日の予定で考えている。管理運営は社会福祉協議会で行う。

◎平成一二年度福生市国民健康保険特別会計補正予算（第一号）

問 老健医療拠出金の約一割増の原因は。

答 算出基礎は国が三カ年分



▲条例改正を起立により可決

◎平成一一年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

問 年間均等額を月割りで払えるか。

答 現状では難しい。

問 滞納者の世帯数と割合は。

答 二七・四世帯で二二・七％である。

問 収納推進員の他の方策は。

答 休日窓口の増や短期保険証発行等を行っている。

◎平成一一年度福生市老人保健医療特別会計決算認定につ

◎福生市市営住宅条例の一部を改正する条例

問 特別養護老人ホームに市の措置で入った方のうち現在三名が自立認定を受けているが、退所する場合の対応は。

答 現在、高齢者住宅に入居している方で二名が特別養護老人ホームに入所予定であり、二戸分が空くので二名はそこで対応できる。あとの一名についてはシルバーピア福生の方で対応を考えている。

◎平成一二年度福生市一般会計補正予算（第二号）

問 普通交付税で基準財政収入額が増えたが、どの部分が増えたのか。

答 地方特例交付金が増加したこと、バブル期に預けられた郵便局の定額貯金が満期になることから東京都の利子割交付金大幅に伸びた。

問 市議会だより印刷費が今回減額になった理由は。

答 前年度と同様の印刷方法であるが、見積もり合わせをした結果減額となった。

問 育英資金や就学援助費の所得基準を伺いたい。

総務委員会

九月二日に開催された委員会では、現地視察（第二中学校の建物耐震補強工事）の後、付託された議案二件と継続となっている陳情四件を審査しました。

◎福生市市営住宅条例の一部を改正する条例

問 特別養護老人ホームに市の措置で入った方のうち現在三名が自立認定を受けているが、退所する場合の対応は。

答 現在、高齢者住宅に入居している方で二名が特別養護老人ホームに入所予定であり、二戸分が空くので二名はそこで対応できる。あとの一名についてはシルバーピア福生の方で対応を考えている。

◎平成一二年度福生市一般会計補正予算（第二号）

問 普通交付税で基準財政収入額が増えたが、どの部分が増えたのか。

答 地方特例交付金が増加したこと、バブル期に預けられた郵便局の定額貯金が満期になることから東京都の利子割交付金大幅に伸びた。

問 市議会だより印刷費が今回減額になった理由は。

答 前年度と同様の印刷方法であるが、見積もり合わせをした結果減額となった。

問 育英資金や就学援助費の所得基準を伺いたい。

答 育英資金は四大家族で両親と子供二人という条件で年収七四〇万円。また扶助費は四大家族で借家で年収五一〇万円程度である。

その他、陳情四件が審査されましたが、継続審査となりました。



▲第二中学校の耐震補強工事を視察

議会運営委員会

八月二十九日に定例会の会期中には三回の議会運営委員会が開かれ、追加議案の取り扱いや本会議の日程等を協議しました。

また、定例会終了後にも開催し、福生市議会だより発行のための割付などを協議しました。

◎横田基地周辺の騒音調査結果について

横田飛行場に係る第一種区域の調査の結果についての報告がされました。

◎空母キティホーク艦載機による訓練について

八月二十五日付け、在日米軍基地から着陸訓練についての口頭連絡があり、九月一日に市長、議長連名による文書による中止要請と九月十九日には抗議文を関係機関に提出したとの報告がありました。

◎横田基地内航空機燃料漏れの経過について

横田基地内の航空機燃料漏れについて六月二十八日に国、東京都、市町による第七回目の除去作業現場確認が実施されたとの報告がありました。

◎米軍人（横田基地所属）による交通事故について

横田基地所属の米軍軍兵士によるひき逃げ事故に対し、軍人等に対する網紀粛正及び再発防止についての要請がされたとの報告がありました。

八月二九日に定例会の会期中には三回の議会運営委員会が開かれ、追加議案の取り扱いや本会議の日程等を協議しました。

また、定例会終了後にも開催し、福生市議会だより発行のための割付などを協議しました。

◎横田基地周辺の騒音調査結果について

横田飛行場に係る第一種区域の調査の結果についての報告がされました。

◎空母キティホーク艦載機による訓練について

八月二十五日付け、在日米軍基地から着陸訓練についての口頭連絡があり、九月一日に市長、議長連名による文書による中止要請と九月十九日には抗議文を関係機関に提出したとの報告がありました。

◎横田基地内航空機燃料漏れの経過について

横田基地内の航空機燃料漏れについて六月二十八日に国、東京都、市町による第七回目の除去作業現場確認が実施されたとの報告がありました。

◎米軍人（横田基地所属）による交通事故について

横田基地所属の米軍軍兵士によるひき逃げ事故に対し、軍人等に対する網紀粛正及び再発防止についての要請がされたとの報告がありました。

八月二九日に特別委員会を開催し、全員協議会から特別委員会へ、国道一六号線の拡幅に伴う横断施設について、国に要望するための要望書の作成の依頼があり、要望書を作成しました。

九月八日の全員協議会において、その要望書を提示し了承がされ、九月二六日に正副議長及び正副委員長により相武国道工事事務所へ要望書を提出しました。当日、事務所の副所長と課長が対応し、要望の内容について意見交換がなされました。

「今年の夏は暑かった」、そのような合言葉の中、九月定例会が終了しました。この議会も一般質問をした議員が一二名と夏休み明けにもかかわらず議員も頑張っており、このまちのため、市民のために市の行政運営について「ここがおかしいのではないかと」、「こうしたい方がよいのではないかと」とか市民代表として考え方や意見を申し述べる場である一般質問は大変大事なものであります。七名の一期生の議員もよく勉強し、よく一般質問をします。活気ある私ども福生市議会のため大きな要素となっています。

今議会において、一一年度決算審査が行われました。特に注視すべき事柄は、税収の落ち込みであり、それらの結果として地方交付税が大幅な増額となったことではないかと思えます。健全な自治体として体力を消耗してしまいう前に何より景気の回復が望まれますし、より慎重な財政運営が必要と考えます。

特別委員会活動から

横田基地対策特別委員会

八月二日に委員会を開催し、横田基地周辺対策等要望事項として、①平成一三年度防衛補助事業の採択。②横田飛行場周辺整備対策経費の増額並びに対象事業の拡充。③横田飛行場での米空母艦載機による飛行訓練の全面中止及び基地所属機による周辺市街地上空での飛行訓練の中止。④航空機燃料漏れ事故の除去作業の早期完了とその内容の情報提供。⑤NLP訓練及び基地に関する有用な情報の迅速的な提供。⑥周辺事態安全確保法等の運用にあたっての的確な情報提供と自治体の意向の尊重。⑦震災等大規模災害時に基地を避難場所指定することについて協議がされ、その後、東京防衛施設局に要請運動をしました。

九月二七日にも委員会を開催し、次の事項について協議しました。

◎横田基地周辺の騒音調査結果について

横田飛行場に係る第一種区域の調査の結果についての報告がされました。

◎空母キティホーク艦載機による訓練について

八月二十五日付け、在日米軍基地から着陸訓練についての口頭連絡があり、九月一日に市長、議長連名による文書による中止要請と九月十九日には抗議文を関係機関に提出したとの報告がありました。

◎横田基地内航空機燃料漏れの経過について

横田基地内の航空機燃料漏れについて六月二十八日に国、東京都、市町による第七回目の除去作業現場確認が実施されたとの報告がありました。

◎米軍人（横田基地所属）による交通事故について

横田基地所属の米軍軍兵士によるひき逃げ事故に対し、軍人等に対する網紀粛正及び再発防止についての要請がされたとの報告がありました。

八月二九日に特別委員会を開催し、全員協議会から特別委員会へ、国道一六号線の拡幅に伴う横断施設について、国に要望するための要望書の作成の依頼があり、要望書を作成しました。

九月八日の全員協議会において、その要望書を提示し了承がされ、九月二六日に正副議長及び正副委員長により相武国道工事事務所へ要望書を提出しました。当日、事務所の副所長と課長が対応し、要望の内容について意見交換がなされました。

「今年の夏は暑かった」、そのような合言葉の中、九月定例会が終了しました。この議会も一般質問をした議員が一二名と夏休み明けにもかかわらず議員も頑張っており、このまちのため、市民のために市の行政運営について「ここがおかしいのではないかと」、「こうしたい方がよいのではないかと」とか市民代表として考え方や意見を申し述べる場である一般質問は大変大事なものであります。七名の一期生の議員もよく勉強し、よく一般質問をします。活気ある私ども福生市議会のため大きな要素となっています。

今議会において、一一年度決算審査が行われました。特に注視すべき事柄は、税収の落ち込みであり、それらの結果として地方交付税が大幅な増額となったことではないかと思えます。健全な自治体として体力を消耗してしまいう前に何より景気の回復が望まれますし、より慎重な財政運営が必要と考えます。

「今年の夏は暑かった」、そのような合言葉の中、九月定例会が終了しました。この議会も一般質問をした議員が一二名と夏休み明けにもかかわらず議員も頑張っており、このまちのため、市民のために市の行政運営について「ここがおかしいのではないかと」、「こうしたい方がよいのではないかと」とか市民代表として考え方や意見を申し述べる場である一般質問は大変大事なものであります。七名の一期生の議員もよく勉強し、よく一般質問をします。活気ある私ども福生市議会のため大きな要素となっています。

今議会において、一一年度決算審査が行われました。特に注視すべき事柄は、税収の落ち込みであり、それらの結果として地方交付税が大幅な増額となったことではないかと思えます。健全な自治体として体力を消耗してしまいう前に何より景気の回復が望まれますし、より慎重な財政運営が必要と考えます。

▲東京防衛施設局に要望

▲国道16号線を視察

編集後記

「今年の夏は暑かった」、そのような合言葉の中、九月定例会が終了しました。この議会も一般質問をした議員が一二名と夏休み明けにもかかわらず議員も頑張っており、このまちのため、市民のために市の行政運営について「ここがおかしいのではないかと」、「こうしたい方がよいのではないかと」とか市民代表として考え方や意見を申し述べる場である一般質問は大変大事なものであります。七名の一期生の議員もよく勉強し、よく一般質問をします。活気ある私ども福生市議会のため大きな要素となっています。

今議会において、一一年度決算審査が行われました。特に注視すべき事柄は、税収の落ち込みであり、それらの結果として地方交付税が大幅な増額となったことではないかと思えます。健全な自治体として体力を消耗してしまいう前に何より景気の回復が望まれますし、より慎重な財政運営が必要と考えます。



▲国道16号線を視察